

研究会のご案内 「放射線による触媒などの機能性ナノ材料創製」

日時：2012年10月15日（月） 13:00～17:00

場所：大阪大学 吹田キャンパス 銀杏会館3階C会議室

趣旨：

水溶液の放射線照射による還元で貴金属ナノ粒子を担体上に安定化し、機能性材料を創製する技術を2003年から継続してきました。ここ数年は、本法で可能となる多元貴金属ナノ粒子の構造制御による触媒機能（燃料電池電極やCO選択酸化など）の高活化に成果を上げました。滅菌用の電子照射施設を利用し大量生産可能性を持つ本方法は、触媒以外でも抗菌性繊維やバイオメディスン方面でカタログ掲載品となる実用材料も産み出しました。今回、本法を放射線利用による高付加価値製品の創製手法に育てる目的を掲げ、成果報告を行うとともに外部講師をお招きしてコメントを得る研究会を公開で行います。ご興味をお持ちの方は是非ともご参加くだされば幸いです。

プログラム

1300 - 1310	開会挨拶、趣旨と概要(10分)	山本孝夫	阪大工
1310 - 1330	放射線（電子線、 γ 線）を用いた製法と特徴(20分)	清野智史	阪大工
1330 - 1355	放射線法で得られる材料の XAFS を含めた多角的ナノ構造解析(25分)	中川貴・ 仁谷 浩明	阪大工・ PF@KEK
1355 - 1425	放射線プロセス素過程と本法へのコメント(30分)	吉田陽一	阪大産研
1425 - 1435	休憩(10分)		
1435 - 1500	放射線法で得られる燃料電池触媒の特徴と機能(25分)	大久保雄司	阪大工
1500 - 1525	放射線法で得られる CO 選択酸化触媒の特徴と機能(25分)	久貝潤一郎	阪大工
1525 - 1555	燃料電池用触媒の研究開発動向と課題(30分)	大門英夫	同志社大
1555 - 1605	休憩(10分)		
1605 - 1625	比較対象としての超音波法（プロセス面、得られる材料）(20分)	水越克彰	東北大金研 関西 C
1625 - 1645	触媒以外への応用展開（抗菌繊維材やバイオメディスンの例）(20分)	清野智史	阪大工
1645 - 1700	総合討論と閉会挨拶(15分)	山本孝夫	阪大工

主催：放射線による触媒などの機能性ナノ材料創製の研究会

代表者：山本孝夫（阪大工）

構成員：中川貴、清野智史、久貝潤一郎、大久保雄司（以上、阪大工）、堀史説（阪府大工）

水越克彰（東北大金研関西 C）、仁谷 浩明（PF@KEK）、秋田知樹（産総研エビキタス研）

協賛：(社)大阪ニュークリアサイエンス協会、(一社)触媒学会、(社)日本金属学会関西支部、
(一社)日本鉄鋼協会関西支部、(一社)日本原子力学会関西支部

参加は無料で、参加登録等も不要ですが、事前にご連絡をいただければ幸いです。

連絡先：阪大工 山本中川研究室、秘書（末廣）06-6879-7886、yamamotolabj@mit.eng.osaka-u.ac.jp

本研究 Gr の活動：下記サイトをご覧ください。

<http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/mt2/html/kenkyu/activity.pdf>

会場の場所、アクセス：下記サイトをご覧ください。

<http://www.office.med.osaka-u.ac.jp/icho/icho-jp.html>

